

10/9
朝日

介護事業所の倒産 過去最多更新94件

1~9月 新型コロナ影響か

今年1~9月に倒産した介護事業所は94件で、前年同期を9件上回って過去最多を更新した。民間調査会社・東京商工リサーチが8日公表した。新型コロナウイルスの感染拡大で、重症化しやすい高齢者が利用を控えたことなどが影響しているとみられる。

事業種別では、「訪問介護」が最も多い46件、次いで「デイサービスを含む「通

所・短期入所介護」が30件だった。いずれも新型コロナの流行で高齢者が利用を控え、事業所側も利用を制限している業種で、感染対策で負担が増えたことも影響した可能性がある。また、自主的に休業や廃業をした介護事業所は今年1~8月で313件にのぼり、前年同期比で19%増えた。

件、休業や廃業は18年の45件を上回り、過去最多となる見通しだという。東京商工リサーチは「人手不足や感染を恐れての利用減少、予期せぬ感染防止策などを、経営環境の激変が新たな負担になった」と分析す

る。これまでには国の助成金などで踏みとどまってきた事業所が多いといい、「支援が薄くなる年末以降、事業が倒産に追い込まれる事業所が増える可能性もある」としている。

(山本恭介)